

KIFA Report

河内長野市国際交流協会



Vol. 112
Jan. 2020



- World Potluck ごった煮 2019
- 姉妹都市25周年記念訪問
～姉妹都市カーメルの今～
- カーメル高校生から
- 多文化の部屋～FLF 四本足のお友だち～

- 日本語交流活動教材「にこにこ」出前講座
- インフォメーション
- コンニチハ！日本語サロンです
- インドネシアフェスティバル





二回目を迎える「World Potluck 世界ごった煮」、今年は晴天にも恵まれ、前回は越える836人の入場者を迎え、沢山の外国の方も参加してくれました。

前日の11月30日、スタッフや関係者が集まり、会場の設営です。事務局長からの説明があり、いよいよ作業開始です。手際よくイベントホールに机と椅子が配置されていきます。ちょっとコツのいるパネルの設置は、前回の経験者がリードしながら作業をすすめていきます。3階と4階に分かれて作業も一段落したところで、食工房でぜんざいがふるまわれ、一息ついたところで作業続行。ホワイエのお店や、イベントホールのブース、3階の展示物の準備がみるみる進んでいきます。一方、食工房は、明日の準備でおおわらわ。

ホワイエ

★世界のフリマ★

民族衣装体験
受付はこちら



木肖
ハワイの物品



ぶちぼけっと



四本足のお友だち



ふるさと歴史学習館



語学クラブと日本語サロン



大会議室

★ワークショップ★



ノルウェーの鉛筆画
(海洋生物絶滅危惧種の保護運動紹介)



ハーバリウム



消しゴムはんこ

ヤング
アメリカンズ
の部屋

前日から
そして当日も
朝から
入念な準備



ヤングアメリカンズの紹介

大会議室
★25周年を迎えた
姉妹都市カーメルの部屋★



インド



地域女性協議会

いよいよ「World Potluck 世界ごった煮」のスタートです。11時の開始を待って、イベントホールには続々と人が詰めかけられます。チケットを購入される方、民族衣装体験用の衣装の写真を眺める方などいろいろです。

オープンすると本場の味を求めてイベントホールに設置された各国のブースは、大賑わい。お昼前ということもあって、早速腹ごしらえが始まります。

舞台のトップバッターは、長野高校の皆さんによる和太鼓の演奏です。響き渡る和太鼓の音に、続々と人が集まってきます。ダンスパワーズによるダンス、各国の皆さんによる歌、インド

舞踊などたくさんの出し物が舞台上で繰り広げられていきます。ホール中央に設けられたイートインスペースでは、舞台を楽しみながら、食べて飲んで、日本人も外国人もごった煮状態。楽しそうにおしゃべりをする皆さんの笑顔に準備の苦労も報われます。

舞台のトリは、おなじみのフローレス・デュオによる素敵な歌声でした。

最後に、島田智明市長よりイベントの成功の祝辞と感謝の言葉をいただき、今年のごった煮も無事終了しました。



トニー先生と英語で歌おう！



ダンスパワーズ



インド舞踊

島田智明市長



ゴスペル



フローレス・デュオ



長野高校
和太鼓



劉麗さん

★ステージ★



好評の民族衣装体験。
今年は、ステージ上でも披露



Korea



YMCA (Timor-Leste)



Switzerland



Spain, Peru, Argentina



南天苑 (Guernsey)

★集まった世界の味！★



China



USA, Germany



Philippines



Indonesia



Australia

姉妹都市 インディアナ州 カーマル市を訪問して

9月24日～10月1日

カーメル市交流活動事業部 榊村博子



ら続けていきたい」と話されていました。夜には、ブレナード市長をお迎えして姉妹都市25周年記念ディナーが開かれました。25年前の姉妹都市提携調印の時来日された、当時の議長、トム・ケンドールさんも出席され、その当時のエピソードを、楽しくお話されていました。

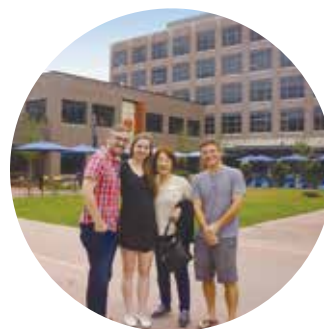
28日は、カーメル市国際アートフェスティバル会場でカーメル市民との交流の機会を持ちました。カーメル高校生や消防士、警察官などの方が立ち寄り「日本に行きとて楽しかった」と懐かしそうに話をしていました。

最終日は、昨年河内長野を訪れたエバンとソフィーと再会して市内を見学。新しくできたミッドタウン・プラザは、子供から大人まですべての人が楽しめるように作られていて素晴らしいと思いました。夕方には、ソフィーのご実家に連れて行っていただき、エバンのお母さんも、パイケーキを焼いて持ってきてくださり、皆さんで、夕食のドイツ料理をいただき、とても楽しい時間を過ごしました。

今回の記念の訪問に参加いたしまして、素晴らしい体験をすることが出来、また新しい街づくりの様子を見せていただきとても参考になりました。一番感じたのが、皆さんとても家族愛

が強く、そして人に優しく、労力を惜しまないということです。そんな素晴らしい人々と出会ったのが最高でした。

これからも姉妹都市交流を大切にし、若い方達に引き継いでもらいたいと強く感じました。



姉妹都市25周年記念を迎え二度目の訪問の機会をいただきました。9年前の訪問では、インディアナ州で開催された“ステートフェア”に参加しました。その時の人口は4～5万人ぐらいだったかと記憶していますが今や10万人を超えまだまだ増える勢いで発展しています。

空港では、前回と同じように姉妹都市委員会会長のバーバラさんとホストファミリーのマイヤーズご夫婦のお迎えをいただき感激で胸がいっぱいになり長い旅の疲れも忘れしました。

到着翌日に見学に行った日本庭園は、周りの木も随分大きくなり池には睡蓮の花も咲き、とても落ち着いた雰囲気、市民の憩いの場になっていました。夜は姉妹都市委員会の皆さんがマイヤーズ家で持ち寄りディナーを開いてくださり、有意義な楽しい時間を過ごしました。



次の日に訪問した“世界で一番小さな子ども美術館”では、昨夏送った河内長野市の子どもたちの絵が展示され、美術館長たちは「今年もとても良い作品ばかり」、「これは大切な素晴らしい交流だか

Shivani & Hannah カーマル高生からのメッセージ



2018年夏に河内長野市を訪れた、姉妹都市のカーメル高生、シバニとハンナからメッセージが届きました。

KIFAと河内長野市民の皆さん、私たちの学校は清教学園と1988年以来姉妹校になり、1994年には両市は姉妹都市になりました。これ以来私たちは両コミュニティと人々を結びつけ、芸術や友情などを通じて平

和な環境を推し進める活動をしてきています。2018年に日本を訪問したとき、私たちはすぐに河内長野との結びつきを感じました。人々はとても親切に歓迎してくれました。このおかげで私たちの旅は魔法のような忘れられないものになりました。カーメルを愛していただきありがとうございます。河内長野と

私たちの初めてのニュースレターを記念して、私たちは市庁舎近くの日本庭園に行きました。このエリアはまるで秘宝のようです。自然と美に溢れ、庭園に来ると人々は大きな平和的な気持ちに包まれます。でも、カーメルの多くの人たちは姉妹都市の存在を知りません。私たちはそのようなカーメル市民に河内長野の素晴らしさを広げていきたいと思っています。

＊この二人の高校生は清教学園を通じてKIFAにコンタクトを取り、更にカーメル市の姉妹都市委員会にも何か活動したいと申し出ています。両市の市民が互いの姉妹都市のことをもっと理解できるようにと、自分たちでニュースレターも作成しています。とても良くできていますので、下のリンクからぜひご覧ください。彼らの投稿も随時KIFAレポートに掲載の予定です。

<https://www.flipsnack.com/poochigoochi/newsletter.html>

“Four Legged Friends” 四本足のお友だち

9月8日(日) 市民交流センター中会議室
ゲスト:中筋ジリアンさん



イギリス出身のジリアンさんは FLF: Four Legged Friends 四本足のお友だち)というボランティアグループを設立し、捨てられた犬猫たちを保護して、里親に出す活動を行っています。

1976 年に来日しましたが、行く先々で、捨てられた犬や猫など、かわいそうな動物たちに出会いました。当時の日本にはそんな動物たちを保護する団体も少なく、ジリアンさんは「なら、自分がしなければ」と思ったのだそうです。

日本では年間何万頭もの犬や猫が殺処分されています。日本ではペットショップで犬や猫を買えますが、イギリスをはじめ、多くの外国にはペットショップはありません。犬や猫がほしい人はブリーダーに交渉するのが普通で、ペットを飼える環境があるかを確認し、飼い主として登録を行います。一方、日本ではペットの売買や飼い主登録などの規制がゆるく、飼えなくなって捨ててしまう人が多いことが、捨て猫や捨て犬を生む一因かもしれません。「どんな動物でも、忍耐強く待てれば引き取ってくれる人が見つかる。」そうジリアンさんは語ります。こんなエピソードもありました。ある時保護した子犬のうち一匹は全く人に懐きませんでした。そのうちジリアンさんの知人の女性から、ご家族が愛犬を亡くして寂しがついているから犬をゆずってもらえないかと連絡があり、ジリアンさんは「あまり人懐っこくない子だけれど、もしよかったら見に来てください」と伝えました。そのおじいさんが会いに来ると、子犬は怖がってケージの後ろのほうで震えたままでしたが、彼はずっとその前に座って子犬に話しかけ続けました。朝から、なん

と夜九時になるまで。すると子犬は抱っこができるようになり、彼の腕に抱かれて、おうちに連れて帰られたそうです。「It's amazing!」とジリアンさん。おじいさんがずっと傍で話しかけ続けたことが、子犬の心を開いたのです。

TNRと「さくらねこ」

保護と里親探しのほかにもう一つ、FLF にとって重要な活動があります。それは「TNR」。Tは捕まえること、Nは避妊手術、Rは戻すこと。TNRは野良猫を一時的に保護し、避妊手術を施してからもとの場所に戻して世話をすることを指します。野良猫の中には、保護しても人になつかず飼い猫になれない子もいますが、そういう子でも避妊手術を受けておけば繁殖することはないので、野良猫が増えていくのを防げるのです。この活動は「どうぶつ基金」も動物愛護事業として推進していて、TNRを受けた猫は目印として耳を桜の花びらのようにV字カットするので、「さくらねこ」と呼ばれています。かわいそうだから、と野良猫にエサをやるだけでは、かえってかわいそうな野良猫を増やすことに…。TNRをすることで、殺処分される猫を減らし、猫たちを地域の中で見守っていく道が開けるそうです。

河内長野は自然豊かで、動物たちの存在も身近に感じられます。ジリアンさんのお話を聞いて、人と動物が共に生きていくことの尊さを改めて教えて頂きました。参加者の方も、犬や猫を飼っている方や動物が好きな方が多く、皆さん熱心に耳を傾けていました。今回の出会いを通して、新たな思いや絆が広がったように思います。



神戸「人と防災未来センター」見学ツアー

11月17日(日)
「人と防災未来センター」、神戸中華街

外国出身の皆さんが、日本での防災について知識を得ていた一助になればと、今年は神戸の「人と防災未来センター」見学バスツアーを企画しました。車内では簡単に自己紹介をしたり、おやつを分け合ったりと、交流の場にもなりました。途中、車窓の景色を楽しみ、紅葉も美しい神戸の街を通過して約1時間半で目的地到着。このセンターは1995年1月17日未明の阪神淡路大震災の経験と教訓を継承し、防災・減災の実現のために必要な情報を発信するために作られました。

震災追体験フロアの1.17シアターでは、阪神・淡路大震災の地震破壊の凄まじさを、大型スクリーンの映像と大音響で体感します。突然襲ってきた地震に逃げることもできず失われた多くの命に改めて思いを馳せずにはいられませんでした。破壊の映像に表されているのは、建物や構造物、山や川などの自然で、そこにいたであろう人間の姿はありませんでした。実際には、映像よりももっと恐ろしい世界であったであろうと、また大自然の力の前に、いかに人間が無力であるか、再認識しました。

震災の後で人々がどのように助け合って避難所生活を生き延び、復興住宅に移り住んだり、日々の暮らしを取り戻していったのかにも心を打たれました。自然の威力に打ちひしがれても、仲間同士で支え合うとき、人間は強くなれます。大阪など被害があまりなかった大都市がすぐ近くにあり、復興のための重機類の調達も可能だったこともあり、神戸のインフラ復興はスピード感を持って進みました。しかし街に人々が戻ってくるには、その何倍

もの時間がかかったとお聞きしました。

バスの車窓から見る神戸の街は、美しくおしゃれな雰囲気を取り戻していて、この街が25年ほど前に瓦礫の山だったことは信じられないくらいです。しかし、そこで失われた命のこと、助かった人々が困難な生活を乗り越えたこと、多くの力を結集して今日の復興を成し遂げたことは、忘れてはならないと思います。この経験と教訓を未来に継承していくことが、私達が防災・減災を実現していくためにとても大切です。

見学後には、神戸の中華街でそれぞれ自由時間を過ごし、屋台の中華やうわさのスイーツなどを満喫して、家族やお友達にお土産を選んだりしました。今回の参加者は38名、そのうち外国籍の方が27名。しっかり国際交流もできた1日でした。



日本語交流活動教材「にこにこ」出前講座

11月9日(土)、16日(土) 市民交流センター 視聴覚室

講師: (合同会社)おおぞら日本語サポート 澤田 幸子氏(11月9日)

(公財)吹田市国際交流協会 日本語講師 榎原 智子氏(11月16日)



2日目の講師 榎原氏

吹田市国際交流協会(以下 SIFA)が文化庁の委託事業として作った日本語交流活動教材「にこにこ」と「はじめてのにこにこ」について出前講座が開かれました。取材に伺ったのは2日目の「はじめてのにこにこ」についてでした。

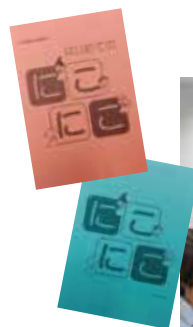
外国出身の学習者に日本語を教えるとき、担当の人を決めて、主にその人だけが学習者と話すようになる、内容が偏ってきがちです。また、本来人によって違う話し方があるはずなのに、同じ話し方に偏って触れることになるなどの問題があります。そのため、SIFA ではグループ活動に重点を置き、日本語でたくさんおしゃべりし、交流を深めることを通じて学習者の日本語活動のサポートをされているそうです。ともに学ぶという姿勢を大切に、自分のことを語り相手を知ることが大事にします。ロールプレイで会話をしたら、さらに自分自身に当てはめて話してもらう「自分語り」が学習者には役に立ちますと説明されました。

「はじめてのにこにこ」は、30のユニットとイラスト、資料、ボランティア向け手引からなるテキストです。7つのステップごとに何をどのように進めていくのか考えられています。イラストを見せながら指導者が語り文を読む、次にイラストを見せながら1文ずつリピートしてもらい、ステップ3では覚えるくらいまで読む。ステップ4からは、学習者に語り文を再生してもらうなど、これは他の言語の指導にも共通し役に立つ教え方だと実感しました。

そのあと参加者は3つのグループごとに、学習者役とボランティア指導者役に分かれて紹介された指導方法を練習しました。指導者はペアになって一人が主に話し、もうひとりには主にイラストの

カードをタイミングよく見せていきます。学習者も2,3人の複数です。参加者は日頃日本語サロンで活動しているボランティアの方たちですから、学習者役、指導者役それぞれ堂に入っています。ジェスチャーも取り入れながら楽しく模擬学習は進んでいきます。途中で持ち上がった疑問には、講師の榎原さんとSIFA 職員の林さんが一緒に考えたりアドバイスをされていました。こうして常に複数の人が話す環境に置かれると、自然にいろいろな日本語に触れることになります。このような場の提供が地域の日本語教室には求められていることを学びました。

最後に、たくさんの経験を積まれているはずの KIFA の日本語サロンのボランティアのみなさんが、さらにいろいろな指導方法から学ぼうとされていることは素晴らしいと思いました。学習者の皆さんから常に「先生、先生」と慕われているのは皆さんの陰の努力があればこそだと再認識しました。



●日本語サロン スケジュール

月	曜日	日曜 Sun.	火曜 Tue.	木曜 Thu.
1月	Jan	12・19・26	14・21・28	16・23・30
2月	Feb	2・9・16	4・18・25	6・13・20・27
3月	Mar	1・15・22	3・10・17・24	5・12・19・26

＜開講場所と時間＞

日曜日 Sundays 14:00～16:00

千代田公民館 2階

火曜日 Tuesdays 10:00～11:45

市民交流センター(KICCS)3階

木曜日 Thursdays 18:00～20:00

ノバティ南館3階 ノバティホール



●語学クラス スケジュール

コース		英語 フリー トーキング	英語 (中級)	英語 (初級)	中国語 (初級)	中国語 (入門)
時間		14:00～15:30	19:00～20:30	19:00～20:30	19:00～20:30	14:00～15:30
開講日	1月	11	14・28	7・21	17・24	15・29
	2月	8	25	4・18	7・14	5・19
	3月	14	10・24・31	3・17	6・13	4・18

■世界情勢 ここに注目！

世界各地で起きている最新の出来事を、政治、経済、歴史、宗教など、様々な面から分析し、グローバルな視点を養います。



第1回 1月18日(土)
14:00~16:00
「沸騰する中東・UAE から世界を視る」
講師：樋野 伸二郎氏

第2回 2月15日(土) 14:00~16:00
「アフリカの子どもたち」
講師：深尾 幸市氏



定員：各回 100名(先着)
参加費：各回 KIFA 会員 無料、一般 500円
申込み：1月7日(火) から 電話・メールで KIFA 事務局まで

河内長野市 市長表彰式

令和元年度河内長野市市長表彰式が11月3日キックスイベントホールで行われました。これは、長年にわたり市政の各分野で活躍された個人や団体を市長表彰するものです。今年度の20人の個人と5組の団体の受賞者のうち、KIFAの関係者2名も個人表彰を受けました。カーメル市交流活動事業部の部長で、広報活動事業部でも活躍され、市の翻訳や通訳の作業にも携わっておられる後藤晴美さんは、「国際交流の推進に貢献」したことを評価されての表彰となりました。



「地域保険医療の充実への貢献」を評価され表彰された土生裕史さんは、KIFAの監事を務めていただいています。

KIFAの目指している事の一つが、多文化共生です。KIFAは、日本人にとっても、外国人にとってもすくすく、住みやすい河内長野を目指して気負うことなく楽しみながら活動を続けています。そういった地道な活動が評価され、今回の表彰となったことはうれしい限りです。



■日本語サロン 公開スタッフ研修

わが国では労働者不足を補うため、海外からの労働者を迎えやすくする法律を2つ成立させました。「改正出入国管理法」と「日本語教育推進法」です。私たちにも大きく影響するこの2つの法律を分かりやすく学ぶため、研修を行います。



第1回 1月25日(土) 14:00~16:00
「改正入管法」について

講師：斉藤 善久氏(神戸大学大学院)
場所：市民交流センター3階 大会議室



第2回 2月1日(土) 14:00~16:00
「日本語教育推進法」について

講師：神吉 宇一氏(武蔵野大学大学院)
場所：市民交流センター3階 中会議室

定員：各回50名(先着)
参加費：KIFA 会員 無料、一般 各回300円
申込み：1月7日(火) から KIFA 事務局へ

■世界の国旗・国歌コンサート

国旗の第一人者、吹浦忠正氏と、国歌を通じた国際友好親善活動でご活躍のソプラノ歌手、新藤昌子氏をお迎えして、オリンピック開催の年にふさわしく世界の国旗・国歌コンサートを開催します。



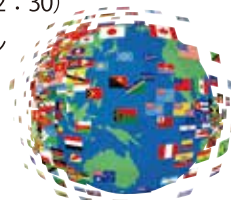
日時：3月8日(日) 13:00~15:00(開場12:30)

場所：市民交流センター4階 イベントホール

参加費：無料

定員：280名(先着)

申込み：電話またはメールで KIFA 事務局へ
2月5日(水) より受付



★事務局からのお知らせ★
年末年始休暇は、
2019年12月27日(金)~
2020年1月4日(土)

※日・祝・月曜日定休のため、
仕事始めは1月7日(火)から

コース	スペイン語 (初級)	韓国語 (中級)	韓国語 (初級)	韓国語 (入門)
時間	19:00~20:30	13:00~14:30	10:40~12:10	15:00~16:30
開講日	1月	17・24	8・22	8・22
	2月	7・14	12・26	12・26
	3月	6・13	11・25	11・25

■問い合わせ・申込み■

河内長野市国際交流協会(KIFA)
事務局

〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1
市民交流センター(キックス)3階

TEL: (0721)54-0002

FAX: (0721)54-0004

Eメール: office@kifa-web.jp

学習心得～日本で学んだ事～



みなさん、こんにちは、私の名前は徐敏豪です。台湾の花蓮出身です。現在 39 歳で、趣味はアウトドアスポーツです。大学を卒業して台北で建築現場のエンジニアとして働いていましたが、オーストラリアへワーキングホリデーに

行き、フィリピンで語学留学をした後、修得した英語を活かして南アフリカにあるレソト王国で働いていました。レソト王国ではジーンズ工場の工場長として 5 年間働きました。日本に比べてアフリカの治安はとても悪く、私は無事に帰って来ることができてうれしいです。私の彼女は日本人なので、今後日本で働き、生活したいのですが、日本で働くには先ず日本語を良く学ばなければなりません。

前の仕事の契約を終えて帰国してから、河内長野に 2 か月間滞在しました。河内長野に来た時、彼女はすぐ無料で日本語のレッスンが受けられる日本語サロンにサインアップするために私をキックスセンターに連れて行ってくれました。ここにそんな国際交流協会があると聞き、とても良い所だと感じました。いろんな国から来た人達の言語と文化の交換は、河内長野での国際的な展望と外国人への印象を高め、外国人が河内長野に来る機会を増やすと思います。日本語サロンでは、フィリピン、ベトナム、インド、インドネシアなどのクラスメイトと会いました。クラスメイト、先



徐 敏豪さん (台湾)

生もとてもフレンドリーで親切です。授業の休憩時間にはお茶や軽食を提供してくれました。もしこれに興味がある外国人の方がいるなら、迷わず直接日本語サロンに参加してください。

日本語を学習するまでは、中国語を使う人にとって日本語は簡単だと思っていました。なぜなら、日本語は漢字を使っているからです。実際学習してみて、先ず一つの漢字に対して音読み訓読みの違う発音がある。また、日本語の文法には規則や変化が沢山あることを知りました。例えば言葉と言葉の間には助詞を入れなければならない、過去の時制と否定形は語尾が変化するなどです。中国語にはこれらの規則がないため、日本語は私にとって難しい事が分かりました。ですので、日本語を進歩させるには学習の方法を見つける必要があります。

この 2 か月間の間に日本語の学習だけでなく、日本の文化をたくさん学びました。日本語サロンの先生達の熱心な指導に感謝しています。今後も日本語を学び続けて、また河内長野へ長期滞在する機会があれば、教室に戻って先生達から学びたいです。



インドネシア フェスティバル

インドネシアフェスティバルに参加した KIFA は、インドネシアの焼き飯、ナシゴレンを販売しました。食工房で調理する人、会場まで運ぶ人、販売する人、それぞれ協力してがんばりました。調理中には、他の出店者からインドネシアの他の食べ物をいただいたり、こちらから差し上げたり、舞台裏でも楽しんでいました。

10月19日(土) 市民交流センター イベントホール



販売担当の(?)山本会長と柴副会長

編

集

後

記



新年おめでとうございます。2019 年を振り返ってみると、元号が「平成」から「令和」に変わり、新天皇が即位されるなど、喜ばしいことがたくさんありました。スポーツ界ではラグビーワールドカップが開催され、日本代表が大健闘しましたね。そんな 2019 年がすぎ、とうとう 2020 年の幕開けです。夏にはいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。観戦・応援をきっかけに、世界中からたくさんの方が日本を訪れてくれそうです。皆様にとって、2020 年が素晴らしい一年になりますように。

無料
メールマガジン
配信中！

KIFAの楽しいイベントや情報を
いち早くお知らせします。
お申し込みは、事務局または、KIFA
ホームページから

chihiro

<http://www.kifa-web.jp/>

